

当法人における処遇改善に関する職場環境要件の具体的な取り組みについては以下の通りです。

| 分類 | 内容 | 当法人の取り組み |
|------------|--|--|
| 資質の向上 | 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援（研修受講時の他の介護職員の負担を軽減するための代替職員確保を含む） | 資格取得の制度として、職務専念義務免除願いの届出にて、資格取得に必要な講習及び実習受講時は研修扱いとする。また、勤務表作成前であれば、試験直近月に限り、希望があれば勉強期間として休暇の調整を行う。 |
| | 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動 | キャリアパス表により職務内容、要件を明確化することにより意欲向上を図る。 |
| | その他 | 職員が自主的に参加した介護に関する研修における受講費、交通費及び日当を負担している。 |
| 労働環境・処遇の改善 | 介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボットやリフト等の介護機器等導入 | 介護ロボット導入を推進し、介護職員の負担軽減に努める。（前年度実績、見守り機器3台導入） |
| | 子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度等の充実、事業所内保育施設の整備 | 学校等からの急な呼び出しにも柔軟に対応できるよう、有給休暇を1時間単位で取得可能としている。 |
| | その他 | 業務中の傷害及び業務の遂行に起因した感染症発症等に対する事故補償保険に加入し安心して働ける環境づくりに努めている。 |
| その他 | 障害を有する者でも働きやすい職場環境構築や勤務シフト配慮 | 障害を有する職員が働きやすいように、障害の度合いに応じた業務に配置する。 |
| | 非正規職員から正規職員への転換 | 無資格、未経験者が非正規職員で経験を積んで正規職員への転換実績が有る。 |